



GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7252 : 2025

(JCIA/JSA)

令和 7 年 12 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	高津 章子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	阿部 明美	一般社団法人日本ゴム工業会
	上野 博子	一般財團法人化学物質評価研究機構
	上野 祐子	中央大学
	小川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	加茂 徹	早稲田大学
	柏 英則	日本プラスチック工業連盟
	坂ノ上 宗広	石油連盟
	下鍋 達也	公益社団法人自動車技術会
	永田 淳	一般社団法人日本分析機器工業会
	野田 浩二	一般社団法人日本化学工業協会
	花村 美保	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	林 英男	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	山田 美佐子	一般財團法人日本消費者協会

主 務 大 臣：厚生労働大臣、経済産業大臣 制定：平成 21.10.20 改正：令和 7.12.25

官 報 掲 載 日：令和 7.12.25

原案作成者：一般社団法人日本化学工業協会

(〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル TEL 03-3297-2550)

一般財團法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審議部会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 田辺 新一）

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会（委員会長 高津 章子）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、厚生労働省労働基準局 安全衛生部化学物質対策課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	3
4 一般事項	14
5 分類に必要な情報及びその内容決定の手順	15
5.1 分類の概念	15
5.2 分類基準及び分類手順	15
5.3 利用可能なデータ, 試験方法及び試験データの質	17
5.4 混合物の分類に特別に留意しなければならない事項	19
5.5 健康に対する有害性, 及び環境に対する有害性におけるつなぎの原則	20
附属書 A (規定) 物理化学的危険性	23
附属書 B (規定) 健康に対する有害性	77
附属書 C (規定) 環境に対する有害性	158
附属書 JA (参考) 参考文献	180
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	183
解 説	184

まえがき

この規格は、産業標準化法第16条において準用する同法第12条第1項の規定に基づき、一般社団法人日本化学工業協会（JCIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 7252:2019**は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格は、国際連合経済社会理事会によって、2021年に改訂された“Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), Ninth revised edition [化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂9版]”(ISBN 9789211172522, Copyright ©United Nations 2021)から内容の一部を抜粋し、一般社団法人日本化学工業協会（JCIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）によって翻訳したものであり、国際連合による承諾を得ている。

This standard includes extracts of Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), ninth revised edition, ISBN 9789211172522, Copyright ©United Nations 2021. Extracts from GHS have been translated and reproduced with the permission of the United Nations, and this translation constitutes an unofficial translation for which the SDOs accept full responsibility.

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

GHSに基づく化学品の分類方法

Classification of chemicals based on “Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS)”

序文

この規格は、国際連合経済社会理事会によって2021年に発行された“化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂9版 [Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), Ninth revised edition]”に基づいて作成した日本産業規格である。

GHSに基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法は、**JIS Z 7253**に規定されている。

また、この規格で参照している参考文献を**附属書JA**に示す。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書JB**に示す。

1 適用範囲

この規格は、GHSに基づき化学品を、物理化学的危険性、健康に対する有害性及び環境に対する有害性について分類する方法について規定する。ただし、“成形品（3.5 参照）”は除く。

注記1 法規制などは、この規格に優先する。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), Ninth revised edition
[化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂9版] (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

なお、暫定措置として、2030年（令和12年）12月24日までは、**JIS Z 7252:2019**に従って化学品を分類し、**JIS Z 7253:2019**に従ってラベル及びSDSを作成してもよい。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 3115 圧力容器用鋼板

JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帶